

高齢者が安心して暮らせる取り組み

若森脩弥 議員
政森千陽 議員

松原小



高齢者が安心して暮らせる取り組みについてクラスで話し合いました。

一つ目は、交通網の充実です。バスの本数が少なく、バス停まで遠い問題を解消するために、地域の方なら誰でも使用できる自動車を、市民センターなどに置けばいいと考えます。

二つ目は、負担の少ない買い物の実施です。移動スーパーがあると、一人暮らしの高齢者も買い物に困らないと思います。

三つ目は、交流の場の確保です。空き家などを活用して高齢者が話したり、お茶を飲んだりできる場所をつくらば、一人暮らしの高齢者も寂しくなくなるのではないかと考えます。

答弁 近藤隆則 市長

お 年寄りと一緒に、さまざまな活動をするのは非常にいいことだと思います。地域ぐるみの活動の中で、高齢者をいたわる気持ちが伝わってきます。

公共交通を充実させていくことは非常に大切なことで、いろいろな人に集まっていたら、交通をどうしていくかという会議をしています。高梁市全体の交通の体系を考え、気軽に出かけることができる取り組みが必要です。

買い物に関しては、移動スーパーの役割は大きいと思います。市は移動スーパーの運営を行う人に助成する制度を設けています。近くで買い物ができるということも生きがい対策であるので、そうした取り組みがこれからは活発になるよう期待しています。

交流の場の確保では、松原地域市民センターや近所の集会所などに高齢者に集まっていたら、話し合ってもいい、ゲームなどをして、過ごしてもらうことを進めています。皆さんも地域の人を見つけたら、「おじいちゃん、おばあちゃん、お元気ですか?」と話し掛けてください。それが一番うれしいことだと思います。

豊かな自然や文化を多くの人にアピールを

竹井みゆき 議員
太田り予 議員

成羽小



成羽町には備中神楽をはじめ、吹屋のベンガラや児島虎次郎の絵画、成羽愛宕大花火など古くから伝わるすばらしい文化があり、私たちの自慢です。

成羽町は自然もすばらしく、水のきれいな島木川には、アユなどたくさん魚や昆虫が生息しています。吹屋で初めて発見された「フキヤミツバ」という珍しい植物も見ることができ、成羽層群という日本で一番古い林の化石が発見された地層など、豊かな自然も誇れるところだと思います。

この成羽の自然を多くの人に知ってもらうために成羽町に成羽の自然を生かした「自然公園」をつくるというのはいかがでしょうか。

猿やカラスの被害対策について

湯浅明々海 議員
島田捷矢 議員

有漢東小



売り物の作物が、猿やカラスなどの被害に遭い、生計に響く方がいたり、大きく育てようと世話をしていたのに、また育てていない時に食べられたり、荒らされたりして心を痛めている方が大勢います。

家庭ではいろいろな対策を考えて行っていますが、なかなか被害が減りません。市は何か有効な対策を考えていますか。

被害に遭った家庭では、壊れた物を自分の費用で直したり、売り物の損害も自宅でも被っています。被害に際しての補償は考えていますか。考えているとしたらどのような形で補償されれますか。

答弁 近藤隆則 市長

獣 害被害は市全体の課題になっていいます。せつかく育てた物を一夜にして、食い荒らされることは非常に悲しいですし、作物を育てようという気持ちがなえてしまうというのにもよく分かります。

市は猿やイノシシなどによる農作物への被害防止対策を話し合う組織を5月30日に立ち上げ、効果的に対策を行うことになっています。被害を少なくするには、全体の数を減らすことと、防ぐことの両方が大事だと思っています。

数を減らすために、猟友会にお願いして駆除してもらいます。また、農作物を守る電気柵やトタンの囲いをする農家に対して補助をしています。サルについても、新しい防護柵の実験をしようと思っています。効果があれば全市に広げていき、農家の負担もできるだけ少なくしようと考えています。

被害に遭った農家への補償は、水稲や果樹などに限られますが、被害に対して補償されます。それよりも荒らされたという心の痛みも大きいので、まずは被害に遭わないことを考え、防御と全体の数を減らすというのに努めていきたいと思っています。

答弁 近藤隆則 市長

成 羽町の文化と自然は、本当にすばらしいものがあります。特に、化石は今でもたくさんの方が発掘していますし、備中神楽発祥の地でもあります。

この地のすばらしさを伝える手段として、公園というものにまとめるのも一つの方法ですし、いろいろな所に皆さんが行っていただきたいという思いもあります。既に整備をしたものもありますので、それを上手に連携して、成羽町全体が公園というイメージをつくったらどうかと思います。ここにはベンガラがあり、ここで備中神楽が見られるという感じですね。

自然はたくさんありますから、その自然が汚くなっていると言われないうにするのは、われわれの務めです。広く成羽町の良いところをアピールできたらと考えています。そうすることで、訪れる人がいろいろな楽しみ方ができると考えています。

自然公園も一つの提案だと思っています。成羽地域が大きな公園だと考えてもいいのではないかと思います。貴重な資産を守っていくのは、そこに住むわれわれであり、皆さんたちだと思っています。

大雨に伴う土砂災害への対策

森田菜摘 議員
西川果歩 議員

富家小



最近、日本各地で予想もできない大雨が降り、ひどい土砂災害が起きています。高梁市にも同じようなことが起こってもおかしくないと思います。

富家小学校では、裏山などが土砂災害危険区域になっているため、土砂災害時の避難訓練を行ったり、児童一人一人が非常用持ち出し袋を持ち、食べ物や飲み物を準備したりしています。

一番大切なのは、災害が起きないための対策だと思いますが、高梁市が行っている大雨や土砂災害に備えた対策について教えてください。万が一、災害が起こった時のために準備していることも教えてください。

答弁 近藤隆則 市長

自 然災害は怖いもので、いつ、どこで、どうなるのかは、誰にも分かりません。その中でも、ここは危険であるという所は、市民の皆さんに防災マップでお知らせしています。

市は県と一緒に、土砂災害が発生する危険性が高いところから順次、土砂を止める工事や道路を改良する工事を行っています。全部がすぐに行けるということではありません。土砂災害が起こる要因に、山が荒れていることが挙げられます。降った雨がそのまま表面を流れて、弱い所が崩れてしまいます。そのため、山をきれいにする取り組みも始めています。

訓練では、いろいろな場合を想定してほしいと思います。非常持ち出し袋で食べ物などを準備していることは進んだ取り組みだと思います。万一時にはそれが非常に役に立ちます。市でも地域局に、ご飯やスナック類、飲料水を備蓄してあります。

災害が起きた時、一番最初にしないといけないことは、「自分の身は自分で守る」ということです。その上で、周りの人と一緒に危険を回避する行動を取ってほしいと思います。